

特別講義：
浜田省吾と日本現代史
～超個人的浜田省吾論
(浜田省吾ソロデビュー50周年記念)

市橋 勝

浜田省吾 (1952年〈昭和27年〉12月29日 -)

広島県出身、日本のロック・ミュージシャン。
ソロ前はバンド愛奴でドラムを担当。吉田拓郎のバックも務める。

[SHOGO HAMADA OFFICIAL WEB SITE \(r-s.co.jp\)](http://SHOGO_HAMADA_OFFICIAL_WEB SITE (r-s.co.jp))

[浜田省吾 – Wikipedia](https://ja.wikipedia.org/wiki/浜田省吾)



[浜田省吾 - 浜田省吾 - Wikipedia](https://ja.wikipedia.org/wiki/浜田省吾)

日本では珍しい「社会派」ロッカー。
Cf.類似のアーティストには佐野元春、尾崎豊等。

主なアルバム：

生まれたところを遠く離れて(1976) デビューアルバム

君が人生の時(1979)

Home Bound(1980)

愛の世代の前に(1981)

Promised Land～約束の地(1982)

J.Boy(1986)

Father's Son(1988)

誰がために鐘は鳴る(1990)

その永遠の一秒に(1993)

Save Our Ship(2001)

Journey of a Songwriter～旅するソングライター(2015)

時代背景：1960~70年代

- ・日本は高度経済成長期
- ・左翼が全盛の時期
- ・マルクス・レーニン主義

e.g. 全学連（三派系）
中核、民青、民学同、社青同、社学同etc
全学共闘会議 - Wikipedia

浜省ソングの特徴

- ・社会的「怒り」や「反抗」、そして「孤独」の表現
- ・資本主義社会批判、社会主義体制批判
- ・犯罪者心理の歌

プロテストソング

Cf. ジャクソン・ブラウン、ブルース・スプリングスティーン等

浜省のサングラスの意味

- ・70年代の学生運動の影響
- ・当時の学生運動は、かなり過激なものが多く、デモ行進などには必ず公安警察が出てきて、ビデオやカメラなどで撮影するという事が多く行われていた。また、セクト同士で内ゲバを行なうなどの殺傷事件が頻繁に起きていた。そのため、学生達はサングラスとタオルで顔を隠しながらデモを行なうという事が割と一般的だった。



[c894eccc.jpg \(399 × 267\)](#)
[\(blogimg.jp\)](#)

浜省も学生運動に参加していたか？

- ・ ほぼ間違いなく参加。但し、いきなり挫折していた可能性が高い。
- ・ 「路地裏の少年」(1976)[\(1\) 路地裏の少年 \(ON THE ROAD "FILMS"\) - YouTube](#)
- ・ 「壁に向かって」(1976)[\(1\) 【ON THE ROAD 2022 Live at BUDOKAN 開催決定！】「壁にむかって」Music Video – YouTube](#)
- ・ 「明日なき世代」(1980)[\(1\) 明日なき世代 \(Welcome back to The 80's / Short Version\) - YouTube](#)

「路地裏の少年」(1976)作詞：浜田省吾

「…狭い部屋で仲間と夢描いた
いつかはこの国 目を覚すと
ああ「裏切り」の意味さえも知らないで…

…口づさめば 悲しい歌ばかり
届かぬ想いに 胸を痛めて
ああ 今日もまた呼ぶ声に応えては
ああ 訳もなく碎かれて 手のひらから落ちて
今は俺22 初めて知る
行き止まりの 路地裏で…」

「壁に向かって」(1976)作詞：浜田省吾

「…死にかけてるぜ 蹤趺の空で
帰るところも見つけられずに
失くするものも何ひとつ無いまま
雨にうたれて壁にむかって
怒りのやいば肩にかざして
脅え続けた いつもの通りへ…」

「明日なき世代」(1980)作詞：浜田省吾

「…69年の夏は路上に燃え上がる幾つもの幻影を見たよ
まるで俺達傷だらけの4回戦ボーイみたいに
打ちのめされてきたけど まだ倒れちゃいない…」

※参考：1969年当時は、国際反戦デーなどがあり、街頭闘争として全国で投石や火炎瓶などで機動隊と衝突するなど、市街戦のような騒乱事件が起きていた。

浜省のセクトは？

- ・神奈川大学の70年代は、社青同解放派が主流。ヘルメットは青色。
- ・神奈川大学での内ゲバの目撃者として、Wikipediaに記載。[神奈川大学 - Wikipedia](#)



[70079373.gif \(649 × 651\)
\(blogimg.in\)](#)

- ・「『遠くへ - 1973年・春・20才』 浜田省吾の楽曲 - 神奈川大学での内ゲバ事件を歌っている。赤いヘルメットのあの娘とは、日本革命的共産主義者同盟（第四インターナショナル日本支部）か？共産主義者同盟？赤軍？、中核派は白地に中核の文字、革マルならば白地にZ文字、神奈川大学で多数だった社青同解放派は青ヘル。」（[神奈川大学 - Wikipedia](#)）

(1) 遠くへ -1973年・春・20才 浜田省吾 - YouTube

「遠くへ -1973年・春・20才-」(1986)

作詞：浜田省吾

「…初めてあの娘に出会った朝は
僕は20才でまだキャンパスも春
赤いヘルメットの奥の瞳に
見透されたようで何とか照れ笑い…」

「…紺と銀色の楯の前で空を仰いで祈り続けた
“神よ 僕等に力をかけて でなければ今にも倒れてしまいそう”
振り向くと遠くにあの娘の眼差し 笑っているのか泣き出しそう
なのか
違う違うこんな風に僕らは
打ちのめされる為に生きてきた訳じゃない…」

浜省のセクトは？

- ・社学同も赤ヘル。
但し、神奈川大学に当時
いたかどうかは不明。



[040004_1.jpg \(600 × 400\)](#)
[\(wakamatsukoji.org\)](http://wakamatsukoji.org)

浜省の社会批判

・多くの社会体制批判

「愛の世代の前に」(1981)(1) [愛の世代の前に \(ON THE ROAD 2022 LIVE at 武道館 / Special Edition\) - YouTube](#)

「マイホームタウン」(1982)(1) [マイホームタウン \(歌詞付き\) 浜田省吾 - YouTube](#)

「New Style War」(1986)(1) [A New Style War \(ON THE ROAD 2011 "The Last Weekend"\) - YouTube](#)

「八月の歌」(1986)(1) [「八月の歌」浜田省吾 - YouTube](#)

「BLOOD LINE (フェンスの向こうの星条旗)」(1988)(1) [「BLOOD LINE フェンスの向こうの星条旗」Father's Son 浜田省吾 再編 - YouTube](#)

「詩人の鐘」(1990)(1) [浜田省吾 SHOGO HAMADA 詩人の鐘 Remaster マスタリング - YouTube](#)

「青空のゆくえ」(1996)(1) [青空のゆくえ 浜田省吾 - YouTube](#)

「モノクロームの虹」(2001)(1) [モノクロームの虹 \(Flash & Shadow\) - YouTube](#)

「愛の世代の前に」(1981)

作詞：浜田省吾

「…愛の世代の前の暴風雨の中
すりかえられた脆い夢など
崩れ落ちてく…」

「…憎しみは憎しみで
怒りは怒りで
裁かれることに何故 気づかないのか…」

※「愛の世代」とは戦後世代の事を指し、また「すりかえられた脆い夢」とは、資本主義の中であくせく働いて金を稼ぐことだと思われる。浜省の世界観として、彼の世代が旧世代を駆逐していくことを展望していたのではないか。

「A NEW STYLE WAR」(1986)

作詞：浜田省吾

「地下から地下へ運ばれた爆発物
国家に養われたテロリスト
成層圏に軍事衛星(MILITARY SATELLITE)
It's A NEW STYLE WAR

飽食の北を支えている
飢えた南の痩せた土地
払うべき代償は高く
いつか A NEW STYLE WAR

貧困は差別へと
怒りは暴力へと…」

※南北問題という世界の資本主義構造の把握はちょっと古いが。

「詩人の鐘」(1990)

作詞：浜田省吾

「…タブーだらけの自由の中で
葬られてゆく
孤立した叫び声
自浄出来ぬシステムに
真実はねじ曲げられ
幻想だけ煽られてく…」

「モノクロームの虹」(2001)

「…モノクロの虹のような夢に傷つき
壊れた心を見てきた

…

解放への幻想(イリュージョン)胸に抱
いて…」

「青空のゆくえ」(1996)

「…もう
夢見てたような未来が来るとは
思えない
悲しいけれど…」

※浜省の挫折？冷戦の終焉と価値観の変化。

浜省の弱者への眼差し

- ・犯罪に追い込まれる者への視線
- ・カップルが破局へと追い込まれる状況

「パーキング・メーターに気をつけろ！」(1982)(1) パーキング・メーターに気をつけろ！ (PROMISED LAND～約束の地/1982)／浜田省吾 - YouTube

「午前4時の物語」(2001)(1) 午前4時の物語 浜田省吾 - YouTube

「さよならスウィート・ホーム」(1982)(1) 「さよならスウィート・ホーム」 Promised Landから - YouTube

「想い出のファイヤー・ストーム」(1986)(1) 想い出のファイヤー・ストーム／浜田省吾 《歌詞》 (1999年) - YouTube

「パーキング・メーターに気をつけろ!」(1982)

作詞：浜田省吾

「汗まみれ 1日10時間

働きどおしで

疲れ果てていた

LAST NIGHT

あの娘を食事に誘って

冷たく あしらわれた

ジェラシー 嵐のような

あの娘が 誰が他の奴と

街角を 腕を組み

歩いていた それだけさ…

ジェラシー

…どうか あの娘を助けて
おれのナイフが あの娘の背に…
わからない わからない
愛していた それだけさ…」

「午前4時の物語」(2001)

作詞：浜田省吾

「…アホな上司もうこりごり
むかつく胸おさえる薬
かみ砕き飲む缶コーヒー
…欲しいのはただ深い眠り

交差点の手前 人影
寝ころんだまま動かぬ影
俺の車をただ見るだけ
薄ら笑いを浮かべるだけ

仲間たちは舗道の影
膝かかえ笑ってるだけ
俺は車をすこしだけ近づけ
叫んだ そこをどけ
…」

「そいつはゆっくり立ち上がり
ポケットからナイフ取り出し
前輪のタイヤに突き刺し
ボンネットの上飛び上がり
俺に突き出した中指
仲間たちにうけるそぶり
勝ち誇ったような身振り
俺の中でなにかがキラリ

バックシートのベースボールバット
掴んだ俺は車道に降り
ナイフ持ってるそいつの右手
狙って振り下ろす
そいつはそれをかわすつもり
頭を下げたそこに
俺の振り下ろされたベースボール
バット…」

浜省の蹉跌感とひたむきさ

- 自身の行き詰まりを吐露する曲

「ミッドナイト・ブルートレイン」(1978) [\(1\) ミッドナイト・ブルート
レイン \(Illumination/1978\)／浜田省吾 - YouTube](#)

「青春のヴィジョン」(1979) [\(1\) 浜田省吾／青春のヴィジョン 《歌詞
》 \(1979年\) - YouTube](#)

「J.Boy」(1986) [\(1\) J.Boy \(ON THE ROAD 2011 "The Last Weekend"\)
- YouTube](#)

- ひたむきさを示す曲

「家路」(1980) [\(1\) 家路 \(ON THE ROAD 2005-2007 "My First Love"\) -
YouTube](#)

「On The Road」(1982) [\(1\) ON THE ROAD 浜田省吾 - YouTube](#)

「青春のヴィジョン」(1979)

作詞：浜田省吾

「何ひとつ守るべきものは無いと感じる
ひとりの凍えそうな夜には
見知らぬ町の夜景がひろがる
ホテルの開かぬ窓 こわしたくなる…

夢見たはずの明日は
ただ今日になるだけ
僕はどこへ行こうとしてたんだ
疲れ果てた でもまだ眠れない
もうこれ以上 走れないよ
そう叫びながら –走り続ける…」

「ON THE ROAD」(1982)

作詞：浜田省吾

「この道の彼方 約束されたはずの
場所があると 信じて行きたい
もう一度 孤独に火をつけて

君の痛みと 彼女の寂しさ
寄り添うように 時を重ねる
二人を救うはずだった夜は
躰と心 引き裂いただけ…」

「家路」(1980)

「…そして夜が明けたらまた生きてくために
生活(くらし)を背負って歩き出す
疲れた体 次第に何も
聞こえなくなる 感じなくなる
だけど

どんなに遠くてもたどり着いてみせる
石のような孤独を道連れに
空とこの道出会う場所へ…」

※キーワードは「孤独」

浜省のミスリードの点

- ・誤った社会認識による批判？

「八月の歌」(1986)

「僕と彼女と週末に」(1982) [\(1\) 僕と彼女と週末に \(PROMISED LAND～約束の地/1982\)／浜田省吾 - YouTube](#)

「アジアの風 青空」(2015) [\(1\) アジアの風 青空 祈り part-2 青空 \(ON THE ROAD 2015-2016 "Journey of a Songwriter"\) - YouTube](#)

「八月の歌」(1986)作詞：浜田省吾

「…八月になるたびに “広島-ヒロシマ”の名のもとに
平和を唱えるこの国 アジアに何を償ってきた
俺達が組み立てた車が アジアのどこかの街角で
焼かれるニュースを見た…」（下線は引用者）

※1980年代、日本はアメリカと貿易摩擦を起こしており、
「日本の自動車輸出がアメリカの雇用を奪う」という非難・
俗説が起きていたことはあったが、アジアでそういうニュー
スがあったというのは誤り。

「僕と彼女と週末に」(1982)作詞：浜田省吾

※原発批判の歌だが、曲中で語られる話。
原発近くと思われる海岸で泳いだ翌日に

「…僕は吐き気がして目が覚めた 彼女も気分が悪いと言い始めた
それで僕らは朝食を取らず 浜辺を歩くことにした
そしてそこで、とても奇妙な情景に出会った
数え切れないほどの魚が波打ち際に打ち上げられていたんだ…」（下線は引用者）

は完全なフェイク。

そのような事実はこの40年間確認されていない（されていれば当然大問題になっていた筈）。

「アジアの風 青空」(2015)作詞：浜田省吾

「…透き通る真夏の青空を 切り裂いた白い光 黒い雨

あれはいつ?

氷雨降る早春の午後

押し寄せる高波に碎けた未来…

(下線は引用者)

あまりに多く血が流された とてつもない悲しみが襲った

あまりに尊い犠牲払った 充分過ぎるくらい学んだ…違うか?」

※前半は1945年8月6日の原爆投下の話と思われ、後半は2011年3月11日の東日本大震災と思われる。

だが、前者は戦争犯罪であるのに対して、後者は自然災害であり、同列には語れない話。仮に、後者が福島第一原発の事故を指しているとしても、あれは事故であって戦争行為ではない。

浜省のラブソング

・女性への眼差し：秘密の愛、破局の愛、引き裂かれた愛～「片思い」や「もう一つの土曜日」がポピュラーだが。。。

「涙あふれて」(1978) [\(1\) 涙あふれて／浜田省吾 《歌詞》 \(1978年\) - YouTube](#)

「丘の上の愛」(1980) [\(1\) 丘の上の愛 \(Home Bound/1980\)／浜田省吾 - YouTube](#)

「ラスト・ショ－」(1981) [\(1\) ラストショ－ \(ON THE ROAD 2015-2016 "Journey of a Songwriter"\) - YouTube](#)

「愛という名のもとに」(1981) [\(1\) 愛という名のもとに 《歌詞》 浜田省吾 "愛の世代の前に" \(1981年\) - YouTube](#)

「陽のあたる坂道」(1981) [\(1\) 陽のあたる場所 浜田省吾 - YouTube](#)

「星の指輪」(1994) [\(1\) 星の指輪 浜田省吾 - YouTube](#)

「紫陽花のうた」(1996) [\(1\) 紫陽花のうた \(ON THE ROAD 2005-2007 "My First Love"\) - YouTube](#)

「丘の上の愛」(1980)

作詞：浜田省吾

「笑顔ひとつで

君はどんな恋でもたやすく手に入れた

でも誰ひとり愛さず

ただのボーイフレンド 遊び相手

貧しさの中で こわれてきえる

愛の生活は嫌だと

まるでショーウィンドウに

自分を並べるように

着飾って 誰かを待ってた…

愛が買えるなら

その涙の理由を教えて…」

「ラストショー」(1981)

「…さよなら 想い出の中の二人

まるでスクリーンのヒーローだった

さよなら セピア色のフィルムに

苛立ちと優しさと怒りを

焼き付けた二人

シートに身を沈めて ぽつんと呟いた

“あなたの夢の中で 生きてゆけるかしら”

きっと 別々の車線を

きっと 走り始めていたんだね

二人違う景色の中を ひとりぼっちで

…」

「陽のある場所」(1981)

作詞：浜田省吾

「寂しさに たやすく恋に落ちた
二人の夜を重ねることに
ためらうことなく

僕のもうひとつの愛の暮しに
ふれないように逢うたび二人
ふざけてばかりいた

…奪うだけ奪い何ひとつ君に与えられない僕を
誰よりも許せずにいるのは僕さ

もう二度逢うのはよそう
君の人生を引き裂く前に…」

まとめ

- ▶ 日本における貴重な社会派ロック。稀有な存在。
- ▶ 社会批判、弱者への眼差し、引き裂かれる恋愛への視点等々。
どの点でも比類なき存在のミュージシャン。
- ▶ 浜省のような、多くの点で共感できるアーティストが同世代にいたというのは評者にとって大きな幸福。